


川づくりコーディネーター登録シート

たきざわ		きょうへい	
滝澤		恭平	
活動を希望する地域	<input checked="" type="checkbox"/> 市内全域 <input type="checkbox"/> ()		
活動可能な曜日・時間	随時		
得意・専門とする分野	・景観／ランドスケープデザイン（河川、水辺含む） ・多自然川づくり、自然再生 ・市民協働		
略歴(川づくりコーディネーターに関連する学歴・職歴・実務経歴など)			
・2007年 工学院大学大学院建築学科卒業 ・2007～2010年 愛植物設計事務所(ランドスケープ・水辺空間設計)勤務 ・2014年 東京工業大学大学院社会理工研究科(社会的合意形成専攻)修士課程修了 ・2014年～現在 ミズベリング・プロジェクト(国交省水局河川利活用事業)事務局ディレクター ・2015年～現在 水辺総研 ・2022年 九州大学工学府大学院博士課程修了 博士(工学) (都市の水辺再生と協働) ・2023年 株式会社ハビタ設立			
自己PR(得意な分野、担当したい内容など)			
地域のニーズをうまく拾い上げながら、地域の方々が望む河川空間や河川環境のデザインをコーディネートします。水辺の利活用や背後のまちや公園などの活動との連動も得意です。市民普請など、自らの手を動かしながら、水辺をよくしていく活動を特に支援できます。また、都市全体で水循環や環境の改善を行い、多機能で魅力的なまちをつくるグリーンインフラの手法も適用可能です。まちや地域の人びとにとって思い入れがある水辺を生み出すお手伝いができればと思います。			
その他			

川づくりコーディネーター登録シート

川づくりコーディネーターに関連する実務経歴など	
分野	多自然川づくり
地域名	横浜市
時期	2015～2018
実務の内容 （プロジェクトの内容、 担当、成果など）	帷子川はまっこアユ遡上プロジェクト 帷子川にて既存愛護会と新規市民のワーキングを行い、市民による川づくり活動を推進。成果として河道内自然再生として、石組み水制を市民普請で施工し、単調な河道に多様な流れと多様な生息環境を創出した。
分野	多自然川づくり、市民協働、景観デザイン
地域名	東京都港区竹芝
時期	2016～2023
実務の内容 （プロジェクトの内容、 担当、成果など）	JR 東日本が開発事業を行った竹芝地区のウォーターズ竹芝。開発地に隣接する汐留川水域には様々な稚魚・幼魚が生息し「東京湾のゆりかご」と言える場所であったことから、かつて東京湾に広がり「江戸前」の生き物たちの棲家であった干潟を計画デザインし、造成した。竣工後は近隣の芝商業高校や干潟に関心がある地域の人びとと共に、水と陸の連続的な接点空間に、様々な生き物が生息する「水辺のエコトーン」を再生するための取り組みを行っている。高校生たちによる干潟絵本の製作、親子でつくる石積みによる陸生カニの住処、乾燥した干潟を湿らせる「みずみち」づくりなど、様々な地域の人びとがチャレンジを積み重ね、干潟再生のムーブメントが広がっている。 計画デザイン、維持管理運営に関与。

分野	多自然川づくり
地域名	東京都杉並区善福寺
時期	2012～2018
実務の内容 (プロジェクトの内容、 担当、成果など)	<p>長らく放置され地域の人びとから忘れ去られていた善福寺公園内の水路。地域の住民が、子どもたちと共に水路に入り、どのような状況なのか調査をした。</p> <p>井荻小学校の子どもたちが、こんな川にしたいと夢の水路の絵を描き、区長にプレゼンテーションしたことから「みんなの夢水路事業」が決定し、子どもたちと市民がどのような水辺にしたいかを考えた。結果、子どもたちがいつでも安全に水路で遊べ、在来種の水生植物や水生生物が保全され、水辺と公園が一体化した空間が2019年に実現。生物多様性への配慮として地域性種苗が植栽され、2023年に自然共生サイトとして認定された。善福寺川を里川にカエル会理事長として市民協働、こどもたちとの環境調査に関与。</p>